



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ 上場取引所 東
コード番号 9791 URL <https://www.bikentechno.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 梶山 龍誠
問合せ先責任者 （役職名） 取締役経営企画室長 （氏名） 神月 義行 TEL 06-6380-2141
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月9日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	17,674	5.7	1,022	81.1	1,038	63.8	671	65.4
2025年3月期中間期	16,727	△2.6	564	△45.2	633	△44.4	406	△43.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 637百万円（35.7%） 2025年3月期中間期 470百万円（△32.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	89.05	—
2025年3月期中間期	53.83	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	40,356	22,182	55.0
2025年3月期	40,351	21,650	53.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 22,182百万円 2025年3月期 21,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2026年3月期	—	18.00			
2026年3月期（予想）			—	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	3.8	1,500	5.3	1,600	3.4	1,100	12.4	145.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	7,718,722株	2025年3月期	7,718,722株
2026年3月期中間期	174,966株	2025年3月期	174,966株
2026年3月期中間期	7,543,756株	2025年3月期中間期	7,543,756株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く経営環境は、企業活動の活性化や首都圏・関西圏での大型開発事業の進展等により経済環境の回復等が進んでおりますが、人件費等の上昇、有資格者を含む人材確保問題の顕著化、物価の急速な高騰による原材料費の負担増、米国からの関税引き上げによる経済全体への先行き不安感等が重疊的に影響を及ぼし、先行き不透明感のある経営環境が続いております。

このような状況下ではありますが、当社グループにおいては、本業のビルメンテナンス事業において大型再開発案件を含む新たな商業施設や物流施設のメンテナンス業務等の受注増加、大阪・関西万博を契機とした業務拡大、経済活性化に伴う工事受注増等により業績の伸びがみられ、前年同期と比較して売上高、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は17,674百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益は1,038百万円（前年同期比63.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は671百万円（前年同期比65.4%増）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、上記で説明させていただいた要因等により、前年同期と比較して売上高が増加し、人件費高騰等の影響はありましたが、セグメント利益も増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は15,771百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は1,927百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当中間連結会計期間においては不動産売却の成立はありませんでしたが、取得物件の賃料見直し、入居者増加等による賃貸収入等の増加により、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は414百万円（前年同期比24.9%増）、セグメント利益は151百万円（前年同期比73.9%増）となりました。

③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。各施設とも引き続き、感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていること等から稼働率回復に時間を要しており、また介護人材確保のための費用も増加したことにより、前年同期と比較して売上高が減少し、セグメント損失が増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は431百万円（前年同期比3.8%減）、セグメント損失は69百万円（前年同期は49百万円のセグメント損失）となりました。

④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、銀座に志かわ等の店舗展開を行ってりましたが、各店舗の収支状況等を勘案しスクラップ&ビルドを進めております。具体的には、銀座に志かわ堺東店を2024年10月に、やきとり家すみれ五反田店を2025年2月にそれぞれ閉店し、すみれ五反田店の跡に自社ブランドとして新店舗の串揚げやみつ八を2025年3月より営業しております。閉店した店舗の影響等により、前年同期と比較して売上高が減少し、セグメント損失が増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は426百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント損失は8百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

⑤ ホテル事業

ホテル事業では、東京と沖縄で2棟のホテルを運営しております。アフターコロナが浸透して人々の移動の活性化による好業績が続いており、2棟のホテルの業績は前年同期比で大幅に向上しました。前年5月末まで売却したベルケンホテル東京の運営を受託していたことを含めても、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は463百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は152百万円（前年同期比38.7%増）となりました。

⑥ その他事業

その他事業では、フードコート運営事業、太陽光発電事業、当社の営業活動のネットワークを生かした関連商品の販売事業等を行ってりましたが、フードコート運営事業は当年8月末にて撤退いたしました。撤退前のフードコート事業の不振により前年同期と比較して売上高が減少し、セグメント損失計上となりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は166百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント損失は10百万円（前年同期は0百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日公表の「2025年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,557,205	8,492,799
受取手形、売掛金及び契約資産	4,310,003	4,042,565
商品及び製品	18,943	23,029
販売用不動産	5,583,345	6,311,599
未成工事支出金	23,870	107,239
原材料及び貯蔵品	47,707	44,164
その他	1,212,352	902,197
貸倒引当金	△76,274	△76,034
流動資産合計	20,677,154	19,847,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,639,315	4,804,191
土地	10,185,812	10,595,155
その他(純額)	403,926	479,593
有形固定資産合計	15,229,054	15,878,940
無形固定資産		
のれん	520,820	469,203
その他	241,560	234,277
無形固定資産合計	762,380	703,481
投資その他の資産		
その他	3,770,305	4,020,717
貸倒引当金	△87,716	△94,279
投資その他の資産合計	3,682,588	3,926,437
固定資産合計	19,674,024	20,508,859
資産合計	40,351,178	40,356,421

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,730,399	1,495,488
短期借入金	1,700,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,634,771	2,692,197
未払法人税等	191,059	472,736
賞与引当金	432,064	437,885
不正関連損失引当金	7,151	7,151
その他	2,892,514	2,770,440
流動負債合計	10,587,961	9,975,899
固定負債		
長期借入金	6,305,993	6,309,154
役員退職慰労引当金	249,867	251,144
退職給付に係る負債	442,228	443,544
資産除去債務	110,362	171,408
その他	1,004,230	1,022,745
固定負債合計	8,112,681	8,197,996
負債合計	18,700,643	18,173,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,672,968	1,672,968
利益剰余金	18,193,131	18,759,291
自己株式	△78,566	△78,566
株主資本合計	21,596,334	22,162,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,502	320,641
為替換算調整勘定	△286,976	△338,605
退職給付に係る調整累計額	42,676	37,995
その他の包括利益累計額合計	54,201	20,031
非支配株主持分	—	—
純資産合計	21,650,535	22,182,525
負債純資産合計	40,351,178	40,356,421

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	16,727,156	17,674,735
売上原価	13,115,161	13,577,286
売上総利益	3,611,994	4,097,449
販売費及び一般管理費	3,047,312	3,074,860
営業利益	564,682	1,022,588
営業外収益		
受取利息	12,801	9,717
受取配当金	22,618	13,404
受取賃貸料	17,649	19,555
助成金収入	8,149	12,767
受取補償金	2,000	—
貸倒引当金戻入額	46,866	7,212
為替差益	—	45,607
その他	62,727	36,882
営業外収益合計	172,811	145,148
営業外費用		
支払利息	36,363	66,140
支払手数料	22,450	31,440
貸倒引当金繰入額	259	12,705
その他	44,735	19,445
営業外費用合計	103,808	129,733
経常利益	633,685	1,038,002
特別利益		
固定資産売却益	13,289	35,171
投資有価証券売却益	7,218	17,680
リース解約益	25,273	—
特別利益合計	45,781	52,851
特別損失		
固定資産除却損	3,284	8,881
特別損失合計	3,284	8,881
税金等調整前中間純利益	676,182	1,081,972
法人税、住民税及び事業税	217,149	404,781
法人税等調整額	52,926	5,389
法人税等合計	270,076	410,171
中間純利益	406,105	671,801
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	406,105	671,801

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	406,105	671,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,012	22,139
為替換算調整勘定	15,440	△51,628
退職給付に係る調整額	80,480	△4,680
その他の包括利益合計	63,908	△34,169
中間包括利益	470,013	637,631
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	470,013	637,631
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。